

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2023 年 6 月 2 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒 060-0807 札幌市北区北7条西1丁目1番地2 SE札幌ビル
氏名	株式会社札幌エネルギー供給公社
(代表者名)	代表取締役社長 石川 敏也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 **第13条第4項** の規定により、**環境保全行動** **第23条第3項** の規定により、**自動車使用管理実施** 報告書を提出します。

報告期間	2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日					
事業の規模	従業員数	31	人	原油換算した	2498.3	kl
	使用床面積	6102	m ²	燃料・熱・電気の合計量		
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	1	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	5180	t-CO ₂	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O
		t-CO ₂	非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃
		t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名					
	担当者氏名					
	電話/FAX					
	電子メールアドレス					
計画書提出根拠	条例第13条(環境保全行動計画)			<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項		
	条例第23条(自動車使用管理計画)			<input type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第2項		
計画期間	2021 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり					
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2021年4月1日～2024年3月31日

【報告期間】

2022年4月1日～2023年3月31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2021年度結果			2022年度結果			2023年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
機器冷却水ポンプ運転時間削減による二酸化炭素排出量の削減	62.3 t	80 %	36 t	42 %	△	23.3 t	63 %	△			
冷熱供給に伴う二酸化炭素排出量原単位の削減	0.0399 t/GJ	1 %	0.0406 t/GJ	▲2 %	×	0.0389 t/GJ	3 %	○			
プラント内電力量削減による二酸化炭素排出量削減	336.1 t	2 %	310.7 t	8 %	○	260.7 t	22 %	○			
紙の使用量削減	96000 枚	1 %	108000 枚	▲13 %	×	103500 枚	▲8 %	×			
執務に伴う二酸化炭素排出量の削減	- %	- %	- %	- %		- %	- %				
法令の遵守	- %	- %	- %	- %		- %	- %				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
機器冷却水ポンプ運転時間削減による二酸化炭素排出量の削減	△	冬季に凍結防止の為、24h連続運転させたことで、運転時間増加。
冷熱供給に伴う二酸化炭素排出量原単位の削減	○	①4月の冷熱供給に雪氷熱を活用。 ②夏季の冷熱需要が減少し、低効率冷凍機の運転割合が減少。
プラント内電力量削減による二酸化炭素排出量削減	○	①温水供給ポンプの改造により、機器冷却水ポンプの運転時間が大幅に減少。 ②特高変圧器3台を更新し、容量低下により損失電力が減少。
紙の使用量削減	×	会議用資料増加。
執務に伴う二酸化炭素排出量の削減		
法令の遵守		